

計画事業番号	00240	事務事業名	学校施設空気環境測定事業	担当部署	教育部教育総務課	電話	4815
--------	-------	-------	--------------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	学校保健安全法第6条(学校環境衛生の基準)				
事務事業開始年度	平成5年度	個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 2 節) 信頼され、魅力ある学校づくりの推進	
	(施策 2 ) 教育環境の整備	
2 対象	市立小中学校(分校含む)	
3 目的と内容	シックスクール対策の一環として、「学校環境衛生上の基準」に基づき、教室内のホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物について空気中濃度測定を実施し、良好な衛生環境確保に努める。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	市内小中学校15校において、空気中濃度測定を実施する。 各学校3教室程度(普通教室、図工、技術室、コンピューター教室、音楽室、体育館など)
	29年度	昨年度同様であるが、市内小中学校15校において、空気中濃度測定を実施する。 各学校3教室程度(普通教室、図工、技術室、コンピューター教室、音楽室、体育館など)

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空気中濃度測定の実施	市内小中学校15校(分校含む)において、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空気中濃度測定を8月に実施	ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空気中濃度測定の実施	ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空気中濃度測定の実施	ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空気中濃度測定の実施

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	近年、化学物質過敏症が問題となっており、施設管理者として児童生徒の健康を維持するための事業であり、現状継続とする。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			553		673		686		686	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	553		673		686		686	
	① 合計	553		673		686		686		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	420	0	420	0	420	0	420	0	
総事業費①+④			973		1,093		1,106		1,106	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①測定実施小中学校数	校	15	15	15	15
			15	15	15	15
	②					
	③					
成果指標	④					
	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	③	目標値				
【指標の定義(算式等)】	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	義務教育施設であり、児童生徒の健康を維持するためには必要な事業である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	「学校環境衛生の基準」に基づき、児童生徒の健康及び教育環境の衛生を適切に保持・管理することが目的であり、施設環境の向上につながっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	児童生徒の健康及び教育環境の衛生を適切に保持・管理するための事業であり、現状より成果を向上させることは困難である。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	測定・分析作業に対応できる業者が近隣に存在することから、ローコストで実施しており、測定個所数を減じる以外は、コスト削減は困難である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。